

利尻町町民アンケート集計結果

目次

1. 調査概要	3
2. 回答者の属性（フェイスシート）について	3
3. アンケート集計結果と補足資料	6
4. 総論	25

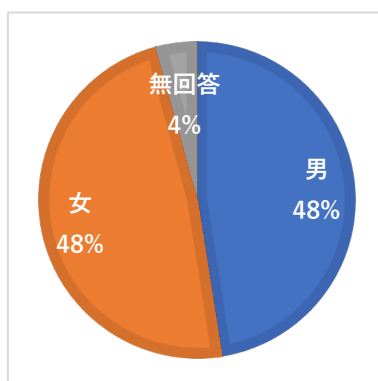
1. 調査概要

- ①調査期間：令和2年1月28日～令和2年2月28日
- ②調査対象：18歳以上の利尻町民1683名
- ③配布・回収方法：郵送法（一部直接配布を含む）
- ④回収数（回収率）：528票（31.37%）

2. 回答者の属性（フェイスシート）について

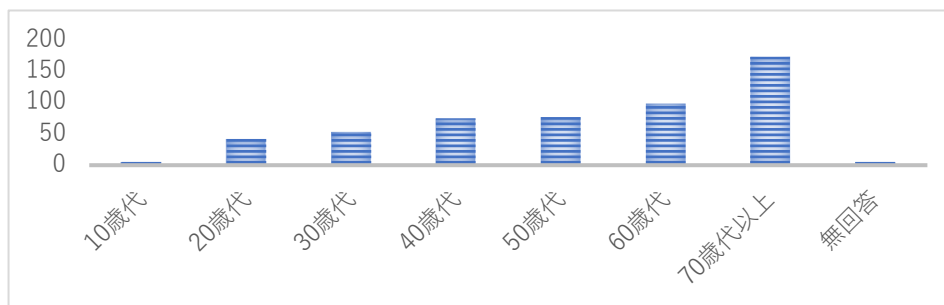
①戸籍上の性別

1.男性	251
2.女性	255
無回答	22



②年齢

1.10歳代	5
2.20歳代	42
3.30歳代	53
4.40歳代	75
5.50歳代	77
6.60歳代	98
7.70歳代以上	173
無回答	5



③職業

1.事業主	42
2.自営業	43
3.会社員・団体職員	60
4.公務員	112
5.パート・アルバイト	72
6.学生	3
7.専業主夫・主婦	88
8.無職	105
無回答	9

④業種 ※上記③で1、2、3、4を選択した方のみ

1.漁業・農業・林業	71
2.鉱業・採石業・砂利採取業	1
3.建設業	22
4.製造業	2
5.電気・ガス・熱供給・水道業	8
6.情報通信業	0
7.運輸業・郵便業	9
8.卸売業・小売業	13
9.金融業・保険業	3
10.不動産業・物品賃貸業	0
11.宿泊業・飲食サービス業	13
12.教育・学習支援	26
13.医療・福祉	43
14.サービス業	33
15.その他	41
無回答	21

⑤在住年数

1.1年未満	16
2.1～5年	74
3.6～10年	38
4.11～15年	19
5.16～20年	33
6.21年以上	328
無回答	20

⑥町内にお住まいの経緯

1.生まれてからずっと住んでいる	149
2.利尻町出身だが一度町外に出て、再び戻ってきた	145
3.町外出身で利尻町に転入してきた	203
無回答	31

⑦婚姻関係

1.独身	105
2.既婚	370
無回答	53

⑧同居の家族構成

1.単身	83
2.夫婦のみ	204
3.二世帯（親と子）世帯	176
4.三世帯（祖父母と親と子）世帯	18
5.その他	11
無回答	36

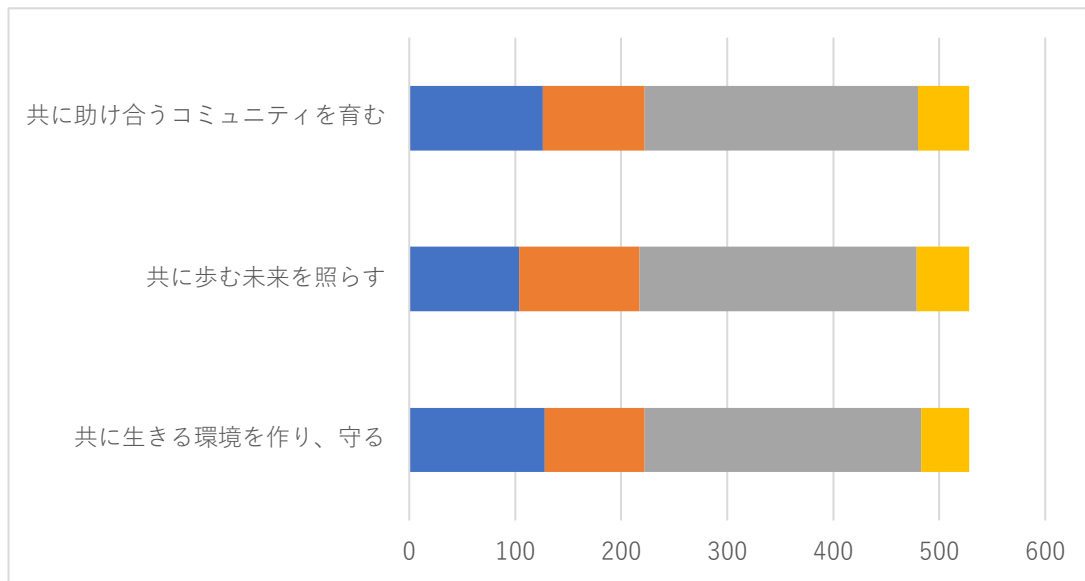
⑨居住地

1.沓形地区	386
2.仙法志地区	112
無回答	30

3. アンケート集計結果

問2 第6次利尻町総合振興計画で定めた基本理念（ミッション）について、町が取り組む事業に反映されていると思いますか。それぞれの基本理念（ミッション）について1つ選び、○印で囲んでください。

基本理念（ミッション） ／選択肢	1.反映されている	2.反映されていない	3.どちらとも言えない	無回答
共に生きる環境をつくり、 守る	128	94	261	45
共に歩む未来を照らす	104	113	262	49
共に助け合う コミュニティを育む	126	96	258	48

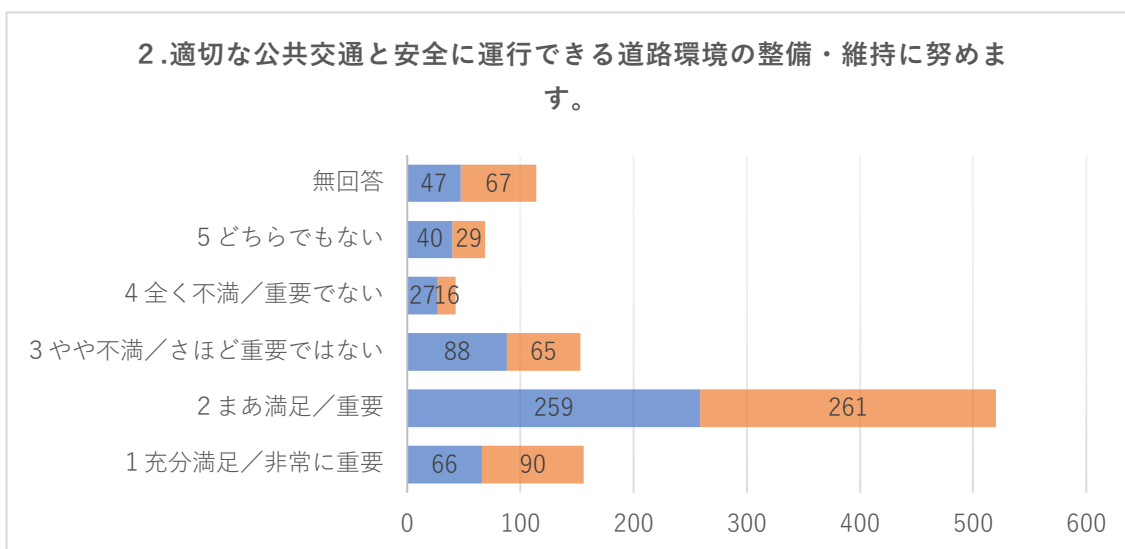
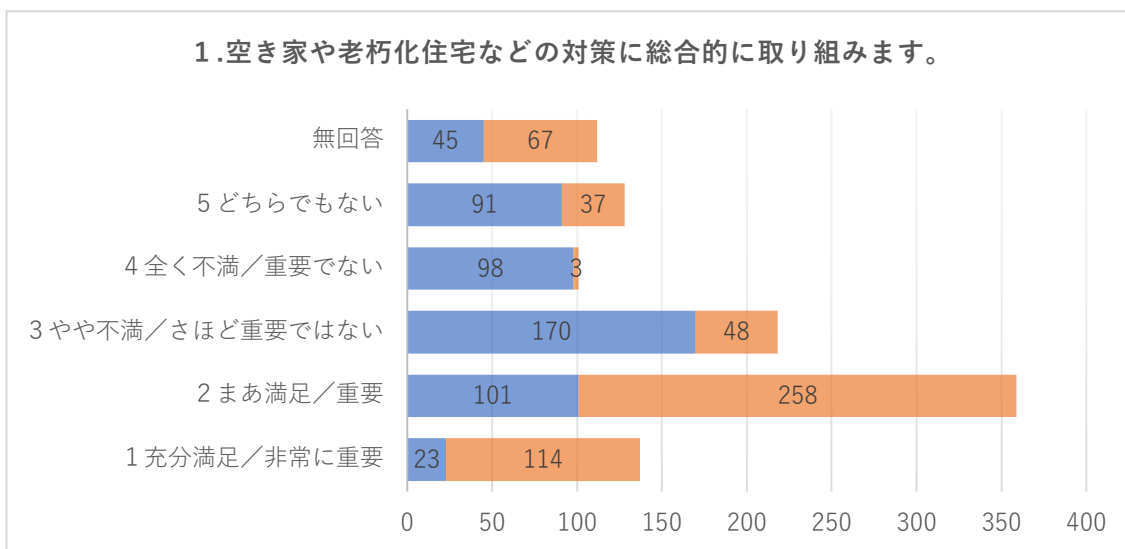


問3 第6次利尻町総合振興計画で定めた行動方針（アクションプラン）について、それぞれに基づいた事業に対する満足度を教えてください。以下より、それぞれ1～5の中から1つずつ選び、○印で囲んでください。

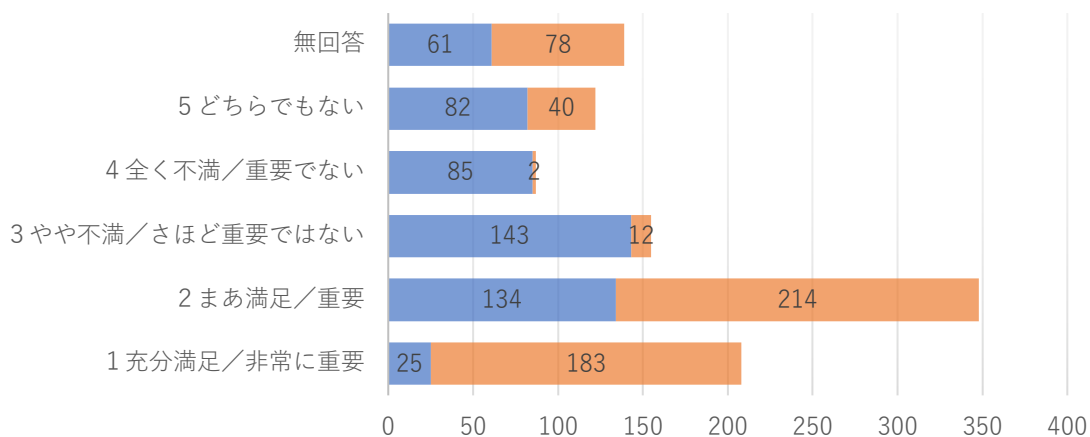
	現在の満足度					今後の重要度						
	十分満足	まあ満足	やや不満	全く不満	どちらでもない	無回答	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要でない	どちらでもない	無回答
1.空き家や老朽化住宅などの対策に総合的に取り組みます。	23	101	170	98	91	45	114	258	48	3	37	67
2.適切な公共交通と安全に運行できる道路環境の整備・維持に努めます。	66	259	88	27	40	47	90	261	65	16	29	67
3.安心して出産し、子育てができる環境をつくりまします。	25	134	143	85	82	61	183	214	12	2	40	78
4.町の自然環境の保護・整備を行います。	37	212	117	33	73	55	106	263	39	7	42	73
5.適切な医療が受けられる体制を整えます。	32	176	152	87	27	54	257	175	10	0	18	68
6.安心して健やかに生涯を利尻町で過ごせる環境づくりに努めます。	22	192	149	61	57	47	189	223	16	1	31	67
7.暮らしやすい良好な生活環境を確保します。	24	209	137	45	65	48	161	237	26	2	34	68
8.基幹産業（漁業・観光業）における担い手獲得・育成支援を行います。	28	192	129	36	93	51	165	230	18	1	43	71
9.子どもから青少年までが健全に育つ環境を整備します。	30	213	104	32	83	67	139	225	23	3	46	91
10.既存産業や次世代産業の育成支援に努めます。	19	159	149	32	101	68	120	227	32	3	50	96
11.地域に愛着・誇りを持てる、特色ある教育活動を進めます。	29	180	105	38	99	77	110	219	39	13	50	97
12.地域経済に寄与できる町外企業の誘致・支援に取り組みます。	23	120	143	55	116	71	111	198	38	19	66	92
13.教育環境の充実を測ります。	30	188	121	27	87	75	125	230	21	5	49	98
14.起業・継業を含め、意欲を持って働ける仕事の創出、就労支援を進めます。	23	144	145	39	101	76	125	225	31	4	50	93
15.意欲的に社会参画できる人材育成を進めます。	22	139	119	44	124	80	105	218	33	7	67	98
16.これまで以上に生き生きと女性が活躍できる環境をつくりまします。	24	145	120	48	117	75	95	214	43	7	74	95

17.町民サービス等の充実・効率化を図るための人材育成等に努めます。	23	132	139	61	100	73	108	218	37	12	57	96
18.地域のつながりにより、すべての人々が安心して暮らしていけるように支援を行います。	38	195	117	36	77	65	131	225	29	3	48	92
19.自然災害などへの自主防災力の向上を図ります。	37	173	114	51	86	66	159	209	26	3	42	89
20.お互いに見守り、声を掛け合える地域づくりに努めます。	49	191	110	33	82	63	146	212	31	3	45	92
21.火災や救急に対する体制の強化を進めます。	53	214	94	29	67	72	157	227	17	1	33	94
22.災害に強い社会基盤整備を進めます。	32	175	111	43	97	71	164	218	15	2	38	91
23.防犯・再犯対策の取り組みを進めます。	46	206	83	22	100	71	121	217	36	8	51	94
24.交通、海難などの事故防止に努めます。	50	203	87	21	96	71	137	230	21	5	42	93

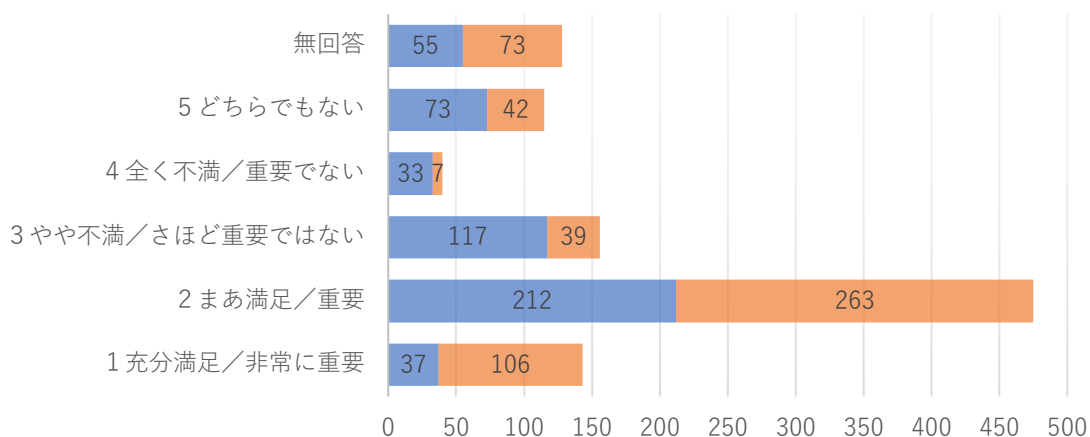
<共に生きる環境を作り、守る>



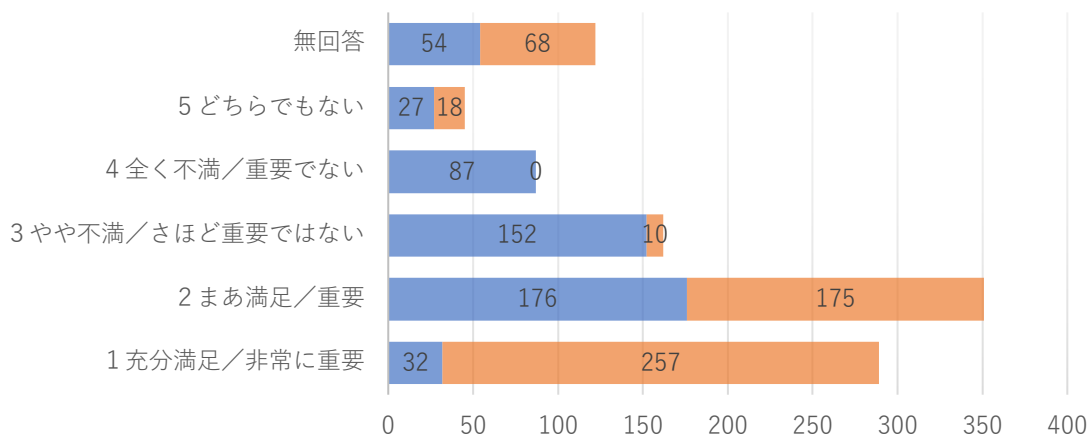
3.安心して出産し、子育てができる環境をつくれます。



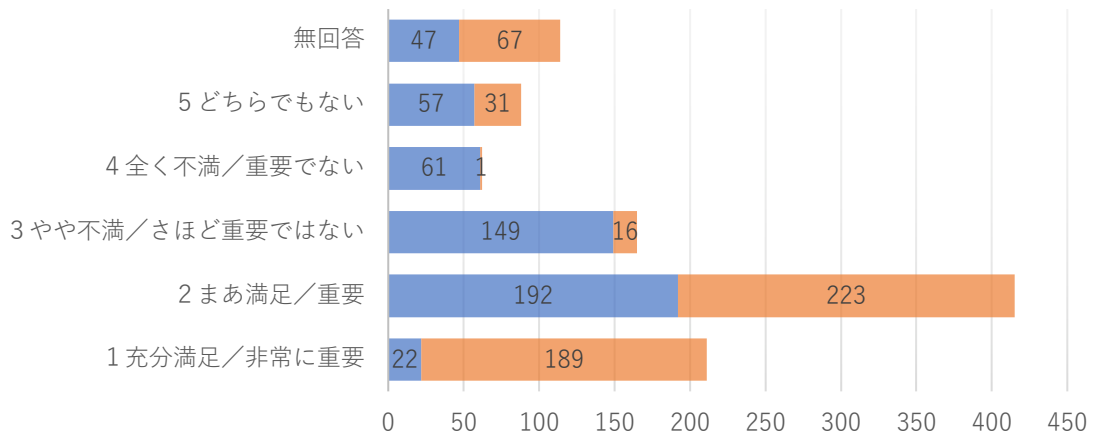
4.町の自然環境の保護・整備を行います。



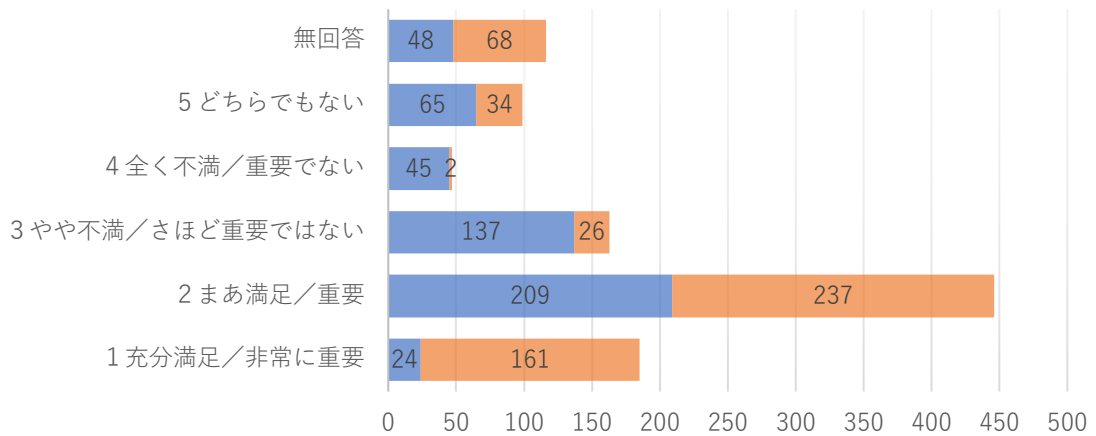
5.適切な医療が受けられる体制を整えます。



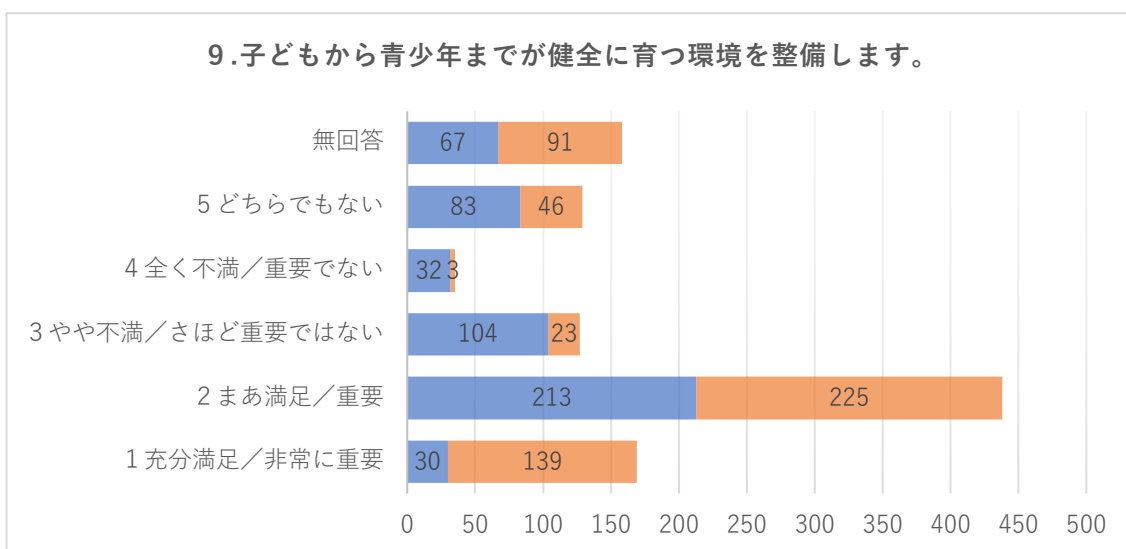
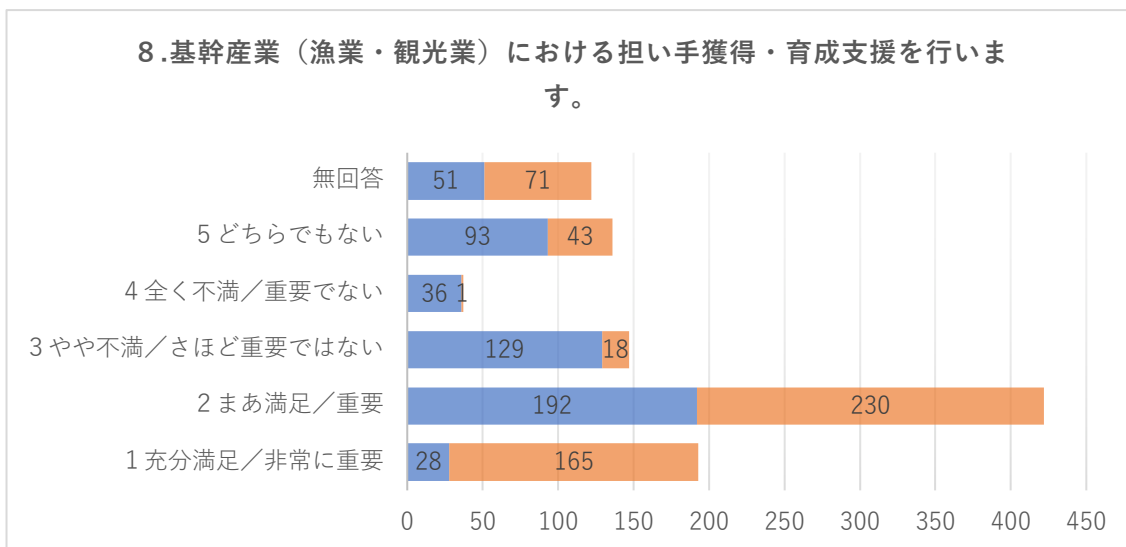
6.安心して健やかに生涯を利尻町で過ごせる環境づくりに努めます。



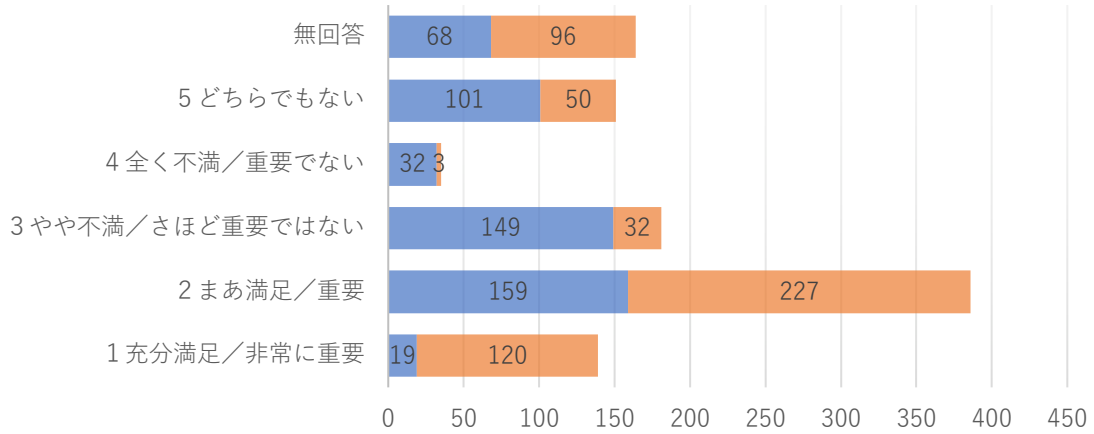
7.暮らしやすい良好な生活環境を確保します。



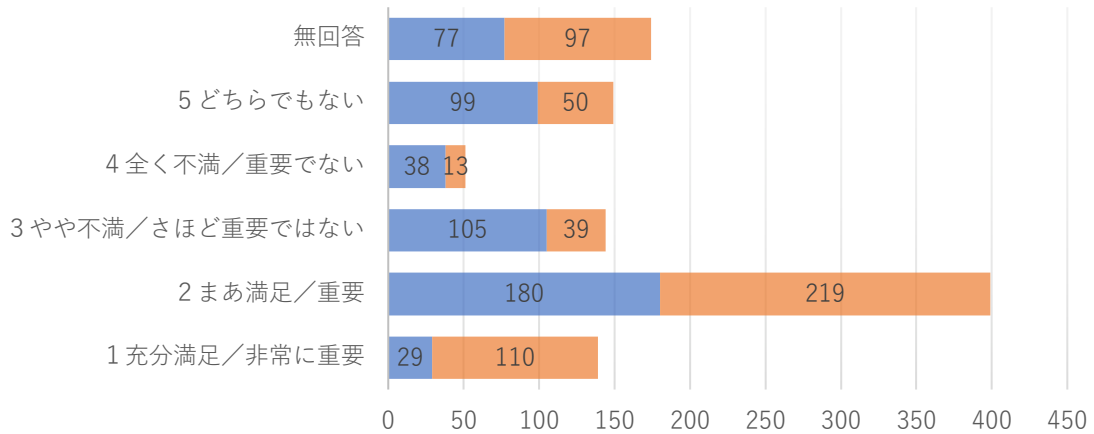
<共に歩む未来を照らす>



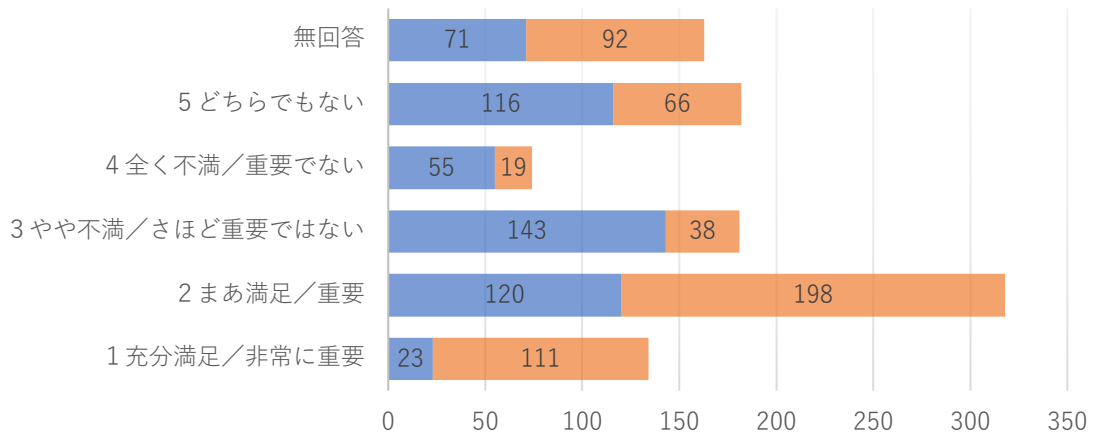
10. 既存産業や次世代産業の育成支援に努めます。



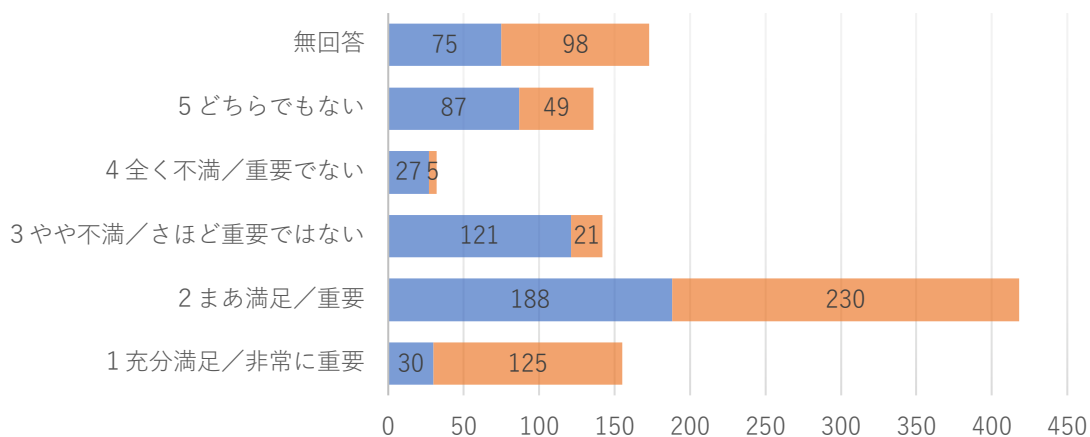
11. 地域に愛着・誇りを持てる、特色ある教育活動を進めます。



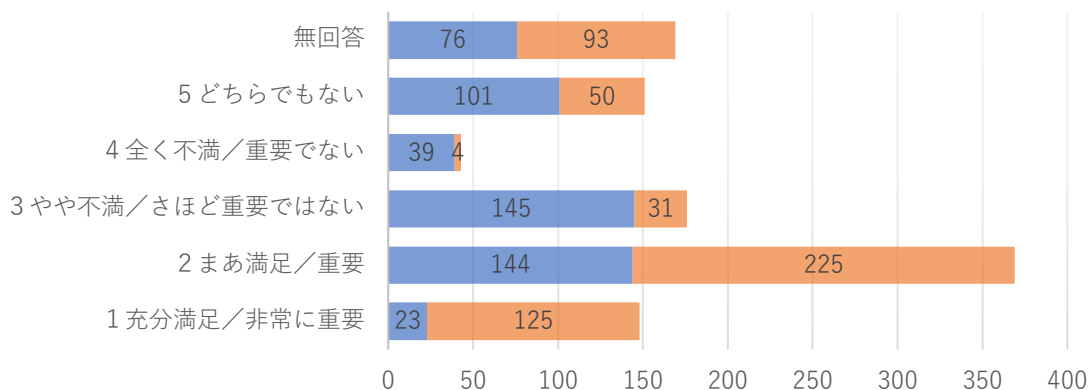
12. 地域経済に寄与できる町外企業の誘致・支援に取り組みます。



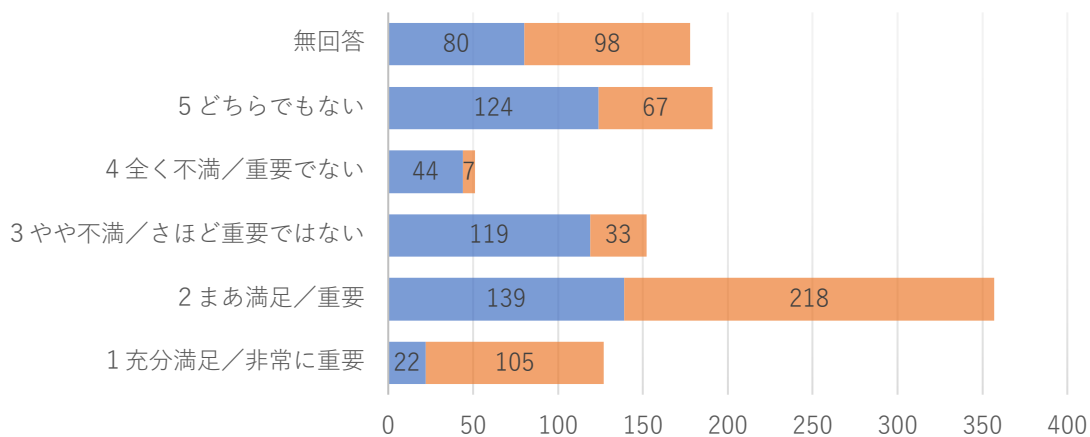
13.教育環境の充実を測ります。



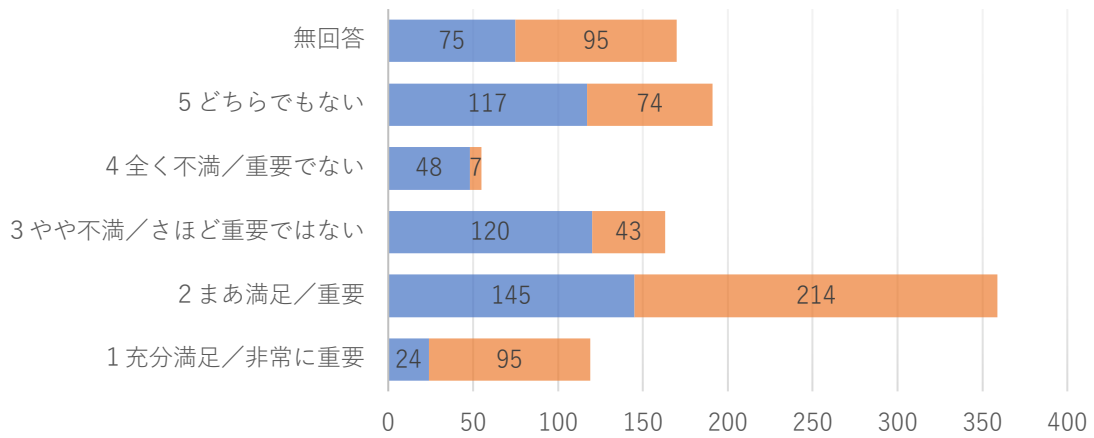
14.起業・継業を含め、意欲を持って働ける仕事の創出、就労支援を進めます。



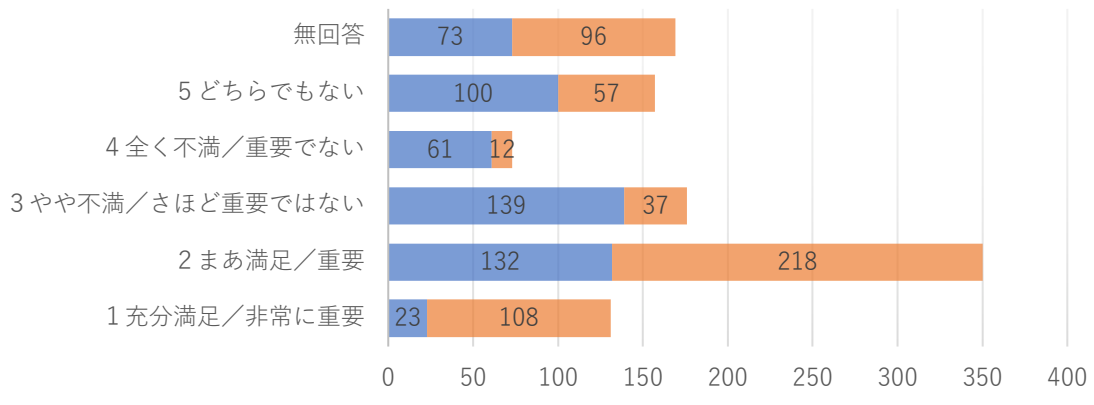
15.意欲的に社会参画できる人材育成を進めます。



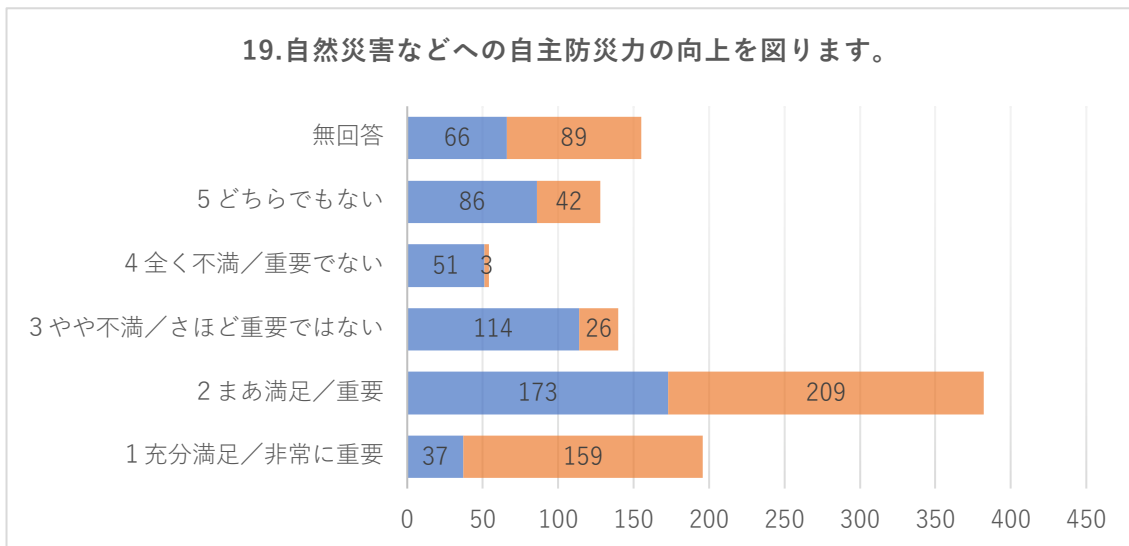
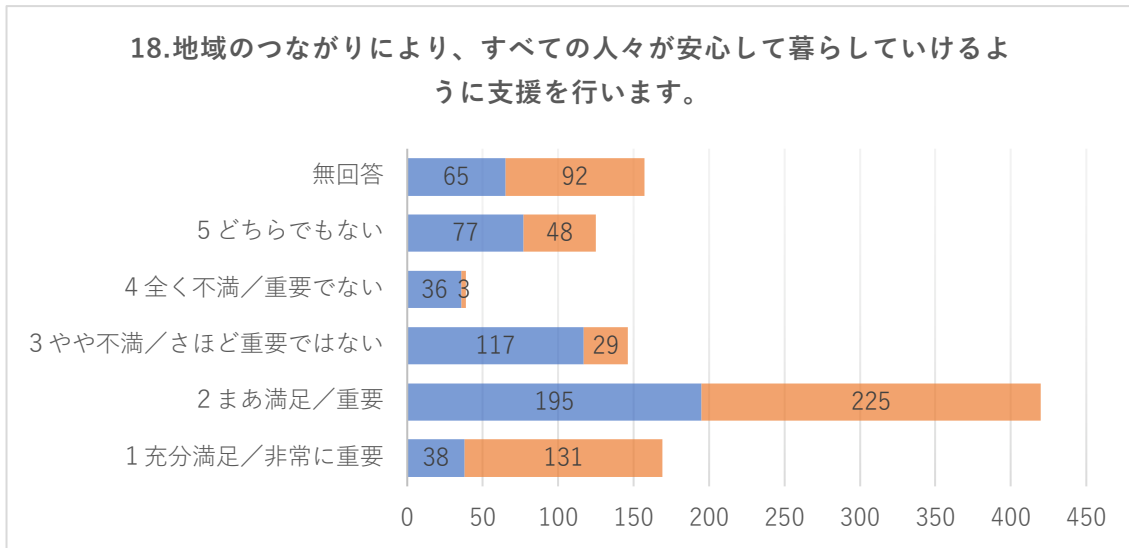
16.これまで以上に生き生きと女性が活躍できる環境をつくります。



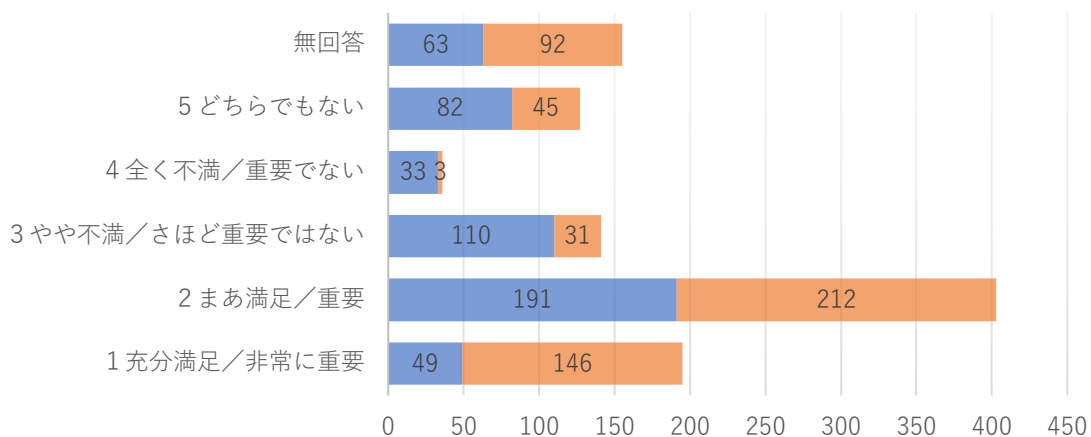
17.町民サービス等の充実・効率化を図るための人材育成等に努めます。



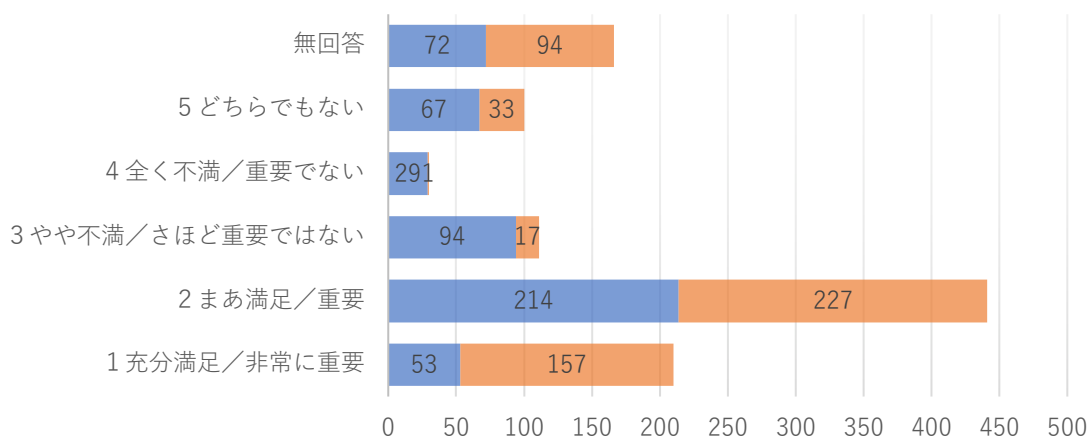
<共に助け合うコミュニティを育む>



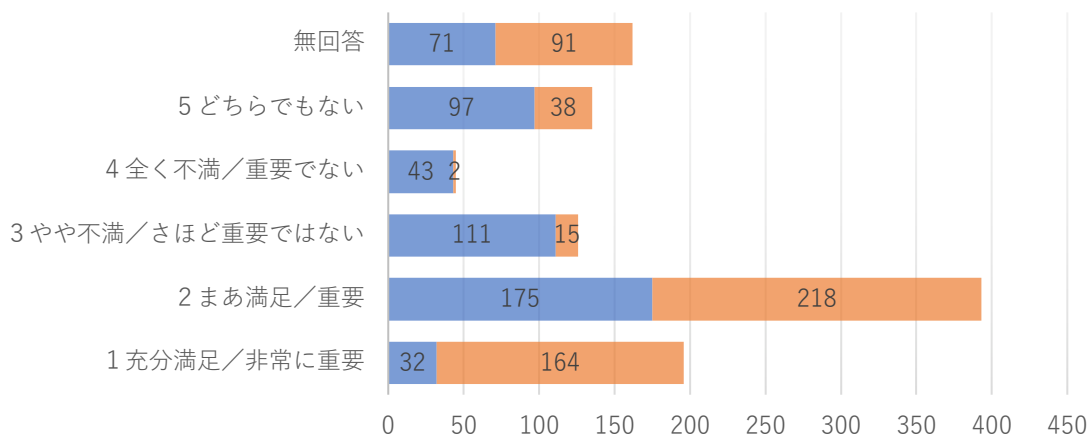
20.お互いに見守り、声を掛け合える地域づくりに努めます。



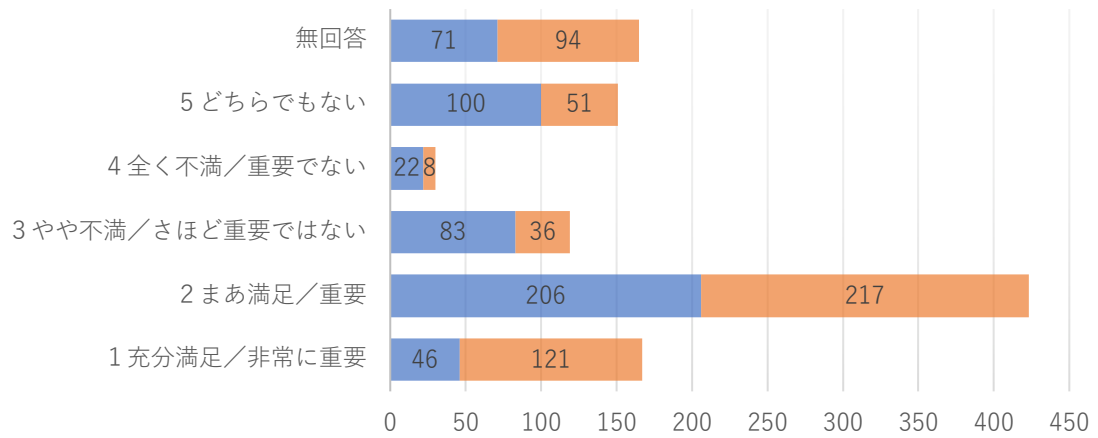
21.火災や救急に対する体制の強化を進めます。



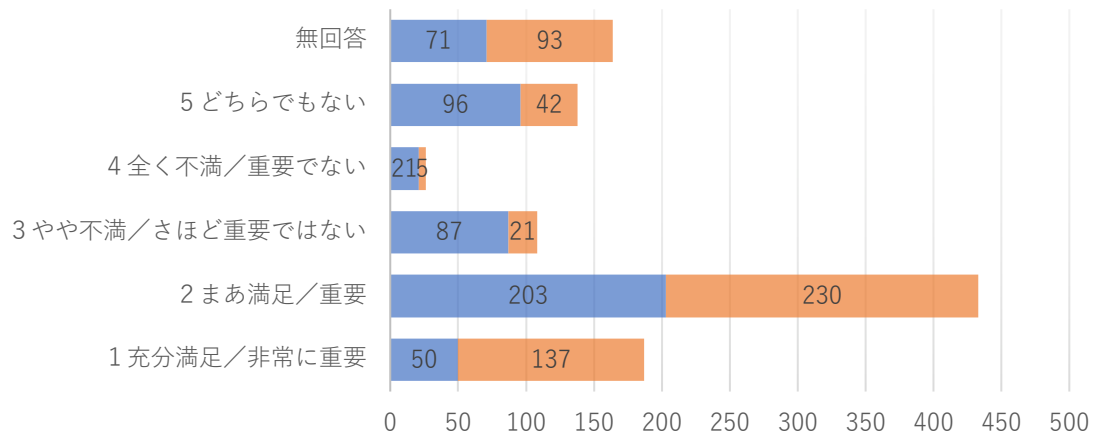
22.災害に強い社会基盤整備を進めます。



23.防犯・再犯対策の取り組みを進めます。



24.交通、海難などの事故防止に努めます。



問4 その他、第6次利尻町総合振興計画に基づく町づくりについて、皆様の評価、ご意見、ご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

※回答ごとに言及されている領域で整理し、可読性を高めるために、適宜、要約としている。

計画の推進体制について： <ul style="list-style-type: none">・町づくりを推進するための土台を固めてもらいたい。・役場職員の人員体制の増強が必要。・町づくりを進めていくための人づくりをがんばってもらいたい。・役場だけでなく、町民が自分のこととして動ける仕組みづくりをしてもらいたい。・行政のみでは町づくりはできない。町民一人ひとりがどうしたら良いか教える機会づくりが必要。
計画の内容について： <ul style="list-style-type: none">・アクションプランの24項目の中で、特に注力すべきものを明確にすべきではないか。・全体的にもっと若い人、女性の意見を取り入れてもらいたい。
計画の周知について： <ul style="list-style-type: none">・町民に対する計画の周知が不足している。・計画に基づいた町づくりについて、活動報告などを回覧等で周知してもらいたい。・誰でも理解しやすいように周知してもらいたい。・共創の理念をもっと広めてもらいたい。
実施事業について： <ul style="list-style-type: none">・財政面を考慮し、極力事業等を減らしてもらいたい。・住民はもちろん、観光客が楽しいと思うような町づくりをしてもらいたい。・仙法志地区をもっと盛り上げる事業をしてもらいたい。特に少子化対策や教育等。・出産できる環境を作ってもらいたい。・医療環境のさらなる充実。・人口流出を防ぐ取り組みをしてもらいたい。・高齢者施設のさらなる充実。・利尻島の良さ、魅力をしっかりとPRしてもらいたい。・定住のための支援施策の充実と町民の暮らしの充実を進めてもらいたい。・危険家屋も含めた空き家対策。・未来の子どもたちのためにも教育に力を入れてもらいたい。・子どもたちへのふるさと教育の充実。・関係人口をもっと増やしていくべき。・バス運行のダイヤおよび本数を地域の実態に合わせてほしい。・公的機関の中に地域の人がいて、地域の人の中に医療・高齢者（福祉）・子どもたちがいる。お互いが協力できるようなシステムや複合施設のような建物づくりをしてほしい。

- ・仙法志中学校の体育館の開放、夢交流館の日中開放等
- ・求人マッチング（短時間の仕事や有償ボランティア等、高齢者や子育て中の人も働けるような仕事も含めて）。
- ・人口減少の歯止めを、どのように実現させるべきか。その厳しい未来の人口減少に寄与可能な産業・企業の誘致、さらなる支援の条件整備等の具現化が必要。
- ・除雪をもっと丁寧に行ってもらいたい。
- ・島民に優しい町づくりを進めてもらいたい。
- ・子育て支援センターの機能拡充と社教団体の運営を充実させる学校教育と保育における人間形成、親子関係、家族環境、学力などの良好な状態を保たせながら、健全に人として社会生活を営むことのできる人づくりに注力してもらいたい。
- ・住みやすい住宅づくりをしてもらいたい。
- ・単身住宅を増やしてもらいたい。
- ・資源管理（特にウニとナマコ）をもっと進めてもらいたい。利尻町の資源は豊かな自然しかないはずだが、自然（天然）への投資が少ないように感じる。特に『持続可能性』を意識した自然活用は大切。
- ・住民がより実感できるような密着した（身近に寄り添うような）事業の展開を希望します。
- ・沓形小学校を早く新しい校舎に改築してもらいたい。

具体的施策案について：

- ・アニメ映画を製作して聖地巡礼による若年層の呼び込み。
- ・人口減少は確実なので、沓形一極集中のコンパクトな町づくり。
- ・使用していない小学校・中学校等の民間企業のテナント化。
- ・AIの導入や企業との連携による業務効率化。
- ・空き家のシェアハウスの活用（漁業アルバイト用の開放等）。
- ・観光客向けにバスの待合所づくり。
- ・漁業と観光を組み合わせたイベントの多様化。
- ・人材育成について、今後の将来を拓く力を持った人を育てるため、出産から子育て、教育まで総合的に各段階での支援、環境整備の上で一貫性のある体制づくり。
- ・新しく起業する人へのもっと手厚い支援。
- ・閉校になった校舎の利活用（観光地・温室栽培等）。

本アンケートについて：

- ・計画や町の事業への理解度がないと回答が困難な内容だった。計画に基づいてどんな町づくりに取り組んでいるのか、分かりやすくまとめたものと一緒にアンケートを行うべき。
- ・3年置きくらいでアンケートを行った方が評価がしやすい。

問5 全国的に人口減少が加速する中、利尻町でも2045年には700人代という将来人口推計などが示されています。今後、利尻町の町づくりを進めていく上で、現在の人口減少傾向について、ご意見をお聞かせください。

※回答ごとに言及されている領域で整理し、可読性を高めるために、適宜、要約としている。

人口に対する考え方：

- ・人口が減るのは仕方がない。
- ・減少の中で、どれだけ減少速度を遅くできるかが重要。
- ・新たなアイデアで規模に応じた暮らしやすい町づくりが必要。
- ・全国的にも人口減はしかたがない事。ただ減少傾向を穏やかにするために、年金以外の最低限の収入を得られる事、医療の充実、支え合える人間関係、これらの事項を少しでも充実されたら利尻町を離れる人は減少するはず。
- ・人口減少は止められるものではないので、それに見合ったコンパクトな町（環境・行政）づくりの展望が必要。
- ・今ある産業が少数になっても継続していけるよう、取り組みの支援や現在従事している人への支援や投資（外部へのPRや誘致よりも現従事者を大切に）が必要。
- ・減少を前提とした町づくりを進めていくべき。
- ・関係人口を獲得するという視点を持つべき。
- ・人口減少は防ぎようがないので、人口減少を見越した町づくりが必要。役場内のサービスについても、過剰サービスは廃止し、手続きは簡素化していくべき。
- ・人口減少はかなり深刻な事だと考えています（人口減少や高齢者の方が増えていく中で、企業や漁業への人手不足になることから先行き不安）。
- ・人口減少は避けて通れない。高齢者の社会参画（簡単な就労手伝いも含め）が重要。
- ・全国的に同様で避けようがないが、利尻町におけるその原因をしっかりと探るべきでは。
- ・日本全体で少子化が加速する中で、利尻町が人口増をするのは無理だと思う。また、病院（大きな）を維持するのも難しく、『生涯にわたって』暮らしていける町づくりを目指すのは困難に感じる。働ける若い人がしっかり稼げて、大自然の中で低コストで暮らせる町を実現しつつ、老いたり、病気になった際には島を出るという選択肢を持つこと。そのための予防医療の強化と、しっかりお金を稼げる（島外に出るのに備えて）環境を整備すれば、労働人口は増え（維持。今より増えることは難しい。）、子どもも増えるのではと思う。

人口減少に関する課題：

- ・人口が減ることによるメリット・デメリットがリアルにイメージ出来ない。例えば人口減少でどんなことが起こり得るのか教えてほしい。
- ・少子高齢化対策。
- ・就職先や就労場所の不足。
- ・財政的に税金の使い道のシフトが必要。居住環境が整備されなければ高齢者だけでなく、若

者も離島しさらなる減少につながる。

- ・ 出産、保育、教育に力を入れる必要がある。
- ・ 大学卒業まで安心して子育て出来る生活の保障。
- ・ 老後一人になっても安心して生活できる環境。
- ・ 人を呼び込むために漁業の生産性向上も必要。
- ・ 産業の充実が必要。
- ・ 財政の見直し。今あるもので効率よく、省けるものは省くこと。
- ・ 仙法志地区の子育て支援や就労支援。人口減・少子高齢化が進む中で、仙法志地区を残すのであれば重点的な施策が必要。
- ・ 医療、福祉のさらなる充実。
- ・ 大学がないこと、仕事が少ないことから島を離れる人が多い。各企業、各商店街で雇用の拡充を進めるべき。
- ・ 交通インフラの充実（飛行機、船）。
- ・ 都市に集中させないこと、イノベーションで少ない人口でも発展できる方法を考えること。
- ・ 子どもが遊べる場所が少なかったり、小さい子どもがいながらの職場探しが難しかったりと、なかなかたくさん子どもを持ちたいと思えない。保育所以外の場所でも子どもを見てくれる環境がほしい。
- ・ 生産性のある世代をどう増やすかが重要。
- ・ Uターンの推進。
- ・ 移住者へのサポートが足りていない。
- ・ いかに減少曲線を緩やかにするか、コンパクトで機能する町づくりをするかが課題。

具体的な施策案：

- ・ まずは移住するため、定住するための住居の確保が必要。
- ・ 利尻は観光資源も水産資源もあるポテンシャルが高い地域なので、あとは人々が生活しやすい環境を整え『利尻に住むと、こんなメリットがある！！』というようなことを周知する。
- ・ 魅力ある職場、会社（環境・賃金等）づくりへの支援。
- ・ 住宅が少ないので、空き家の活用（買う・借りる）など仲介するシステムが必要。
- ・ 高校は礼文のように、島外からの受け入れか専門性（漁業とか山ガイドとか）のある教育を進めるべき。
- ・ 人口減少の歯止めの対策として漁業後継者の先住者対策。
- ・ 子どもたちが郷土愛を持てるような取り組み。
- ・ 町営で合葬墓などをつくり地元で死んでもいいとか、島外のものにも PR して人口を増やす（高齢者が戻ってくる）『利尻に骨をうずめませんか』。
- ・ 冬場の産業を創出し、地元で定住できるように整備する。
- ・ 災害時に強い町づくり（将来に不安を覚えないような町づくりをしてほしい）。
- ・ 65歳を目処に定年制にして、若い人材を育成する（若い人材が働ける職場の確保）。

- ・移住定住者に対する支援の充実。
- ・産業（農業も可能）、交通便（飛行機、フェリー、バス、タクシー）、暮らし（商業施設、医療機関、教育環境施設、スポーツ施設、福祉施設、集会施設、娯楽施設等）のPRが必要。
- ・漁業権を他の職種の人（公務員、会社員等）、やりたい人には誰でも認める（兼業推進）。
- ・可能な限り『人と住まいと公共施設』に集中させて、行政の徹底した効率化を進めることが肝要。
- ・漁業の少ない資源に付加価値を付け、個人所得を向上することで人を呼び込む。
- ・ワーケーション、リモートワーク層や関係人口施策を進める。

問6 問5で伺ったご意見を踏まえて、これからの利尻町の人口減少に対して、どのような取り組みが必要だと考えますか。ご意見をお聞かせください。

※回答ごとに言及されている領域で整理し、可読性を高めるために、適宜、要約としている。

<p>住宅について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利用。 ・住環境の向上。 ・住宅物件の管理等を行い、貸しやすい、借りやすい仕組みづくり。
<p>仕事・雇用・産業について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島の中の足りていない働き手についての情報発信。 ・起業支援。 ・働き場の創出。 ・大学卒業後、利尻町に戻って働きたいと思う会社・職場づくり。 ・漁業人口を増やす。 ・高齢になっても働ける、働きたいと思えるようなワークシェアの構築（各分野で）。 ・漁業後継者の獲得・育成。 ・年間通して働ける産業の構築。 ・島の特産品開発。 ・中高校生、大学に進学した若い世代が利尻町で働ける環境づくりとインターンシップの推進。 ・漁業協同組合との連携強化。
<p>観光について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通じて観光客を呼べる対策。 ・リピーター獲得。 ・高齢者の就労。例えばガイドや観光の受付、手芸品、土産品の作成・製作販売など簡単な仕事手伝い。 ・冬の観光業の活性化。

<p>教育について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成（学習支援）。 ・島外の高校大学専門へ通う世代への助成。 ・小中高校生の政治参加。 ・郷土愛や海に対する意識の醸成。 ・利尻高校の島外留学生の受け入れ。
<p>医療・福祉について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島外の専門医療機関受診の際の交通費助成、その際の札幌等の宿泊施設提供。 ・医療・福祉環境の充実。 ・医療職種の人材確保、医療水準のさらなる向上。
<p>子育て支援について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊べる屋内施設の充実。 ・子育て用品のレンタル。 ・保育士さんの待遇改善。 ・託児所の充実。
<p>移住について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の移住促進。 ・短期労働者からの移住者を増やす取り組み。 ・都市部への町の定住移住の取り組みに関する情報発信。
<p>定住について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花嫁対策。 ・公共交通機関の充実（バスのダイヤ見直し等）。 ・道路の整備。 ・税金の引き下げ。 ・電気料及び水道料の引き下げ。 ・若い人のやりがい、高齢者の生きがいはまだ沢山見つけられる。 ・買い物バスなど的高齢者支援。 ・娯楽・レジャー施設の整備。
<p>関係人口について：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利尻町と関わったことのある人のもう一つのふるさととしての行き来のしやすさが重要。 ・島外企業の誘致。 ・リモートワーカーの誘致。
<p>その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対数の減少は免れないため、それに左右されるサービスとはまた別の価値を持つ尺度（島に住む幸せ）の育成を今から進めていくことが必要。 ・利尻の魅力を損なわないための自然環境保護。

- ・人口規模に合わせた行事や自治会等の簡素化。
- ・飛行機便数の増加やダイヤの見直し。
- ・町の特徴が必要。〇〇な町、〇〇の町など。まず利尻町という名の知名度を上げるべき。
- ・過剰な住民サービスの廃止。
- ・島内2町の連携。
- ・自衛隊誘致。
- ・外部からの転入だけでなく、転出をいかに食い止めるかの政策を行ってほしい。
- ・衣食住の全てが徒歩圏内で完結できるようなコンパクトシティを目指す。
- ・町の取り組みや魅力をもっと情報発信していくこと。

4. 補足資料：全体を通じて、その他の意見（参考）

役場への要望：

- ・役場職員の待遇改善。
- ・移住対策促進。
- ・人材確保と育成の促進。
- ・人事評価を含めた組織改革。
- ・Uターン促進。
- ・役場各事業等の情報発信の充実。
- ・ホームページの刷新。
- ・一人暮らし高齢者への安否確認の頻度を高めてほしい。
- ・町民との意見交換、コミュニケーション機会の創出。

教育環境への要望：

- ・小学校の合併。

温泉施設への要望：

- ・浴場の美化。

空き家対策への要望：

- ・廃屋、放置空き家の解体。
- ・空き家対策の促進。

議会への要望：

- ・議員待遇の見直し。

自然・環境への要望

- ・光害への取り組み（街灯が明るすぎて星が見えない）。
- ・海岸保全。
- ・町中の景観の美化。

定住環境への要望：

- ・灯油・ガソリン価格の低廉化。

<ul style="list-style-type: none"> ・住宅などの生活環境の向上。 ・除雪について（玄関や家の前に除雪した雪を置いていかないでほしい）。 ・夢交流館の機材設備の更新。 ・大人や子どもが気軽に使える屋内の Wi-Fi 付きのフリースペースがほしい。
<p>医療・介護・福祉環境への要望：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科の多い設備のしっかりした病院を希望。 ・病院財政の建て直し。 ・病院の先生の確保。 ・福祉の充実。 ・特別養護老人ホーム『ほのぼの荘』の人的・物的充実。
<p>防災対策への要望：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害や防災対策の町民参加の避難訓練の実施。実動訓練でなくても避難勧告基準の説明周知、防災講演会開催でも良い。

5. 総論

アンケート全体を俯瞰して、総合振興計画の評価、今年度策定を進めている第二期利尻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略における人口ビジョンの人口に対する考え方について、町民の声を抽出します。

<総合振興計画に対する評価について>

総合振興計画においては、その内容および各実施事業についての認知度が低く、さらなる情報発信・周知のための機会創出が必要ではあるが、地域住民の目線で、どの行動方針（アクションプラン）が重要視されていて、どのような事業が求められているのか、現段階での評価が低いものを抽出することができた。以下の内容を参考に注力すべき事業を進めていくことが必要だと考えられる。

①総合振興計画・実施事業周知の機会不足

- ・各問への回答および自由記述内容から、総合振興計画の内容を理解していない、知らないといった声が複数あった。全戸配布や役場ホームページからの発信、各自治会での説明等を行ったものの、内容把握されていない方が一定数いることが分かった。引き続き、総合振興計画の内容等を周知する機会を創出していく必要がある。
- ・町役場が実施している事業内容と各事業が総合振興計画のどの基本理念（ミッション）・行動方針（アクションプラン）に紐づけられているのかが公表されていないため、それぞれに対する理解度が低くなってしまっていることが分かった。実施計画の公表は義務付けられていないものの、外部評価として町民の声・意見を広く取り入れていくのであれば、毎年実施する事業内容と総合振興計画への紐

づけが分かるように情報発信、周知を図っていく必要がある。

②重要視されている行動方針（アクションプラン）

- ・重要度に対して現状満足度が低い領域

期待値・評価 A・評価 B について、各数値で際立っている 11 項目を抽出。期待値は数値が高いもの、満足度①（評価 A）は数値が低いもの、満足度②（評価 B）は数値が高いものを 5 項目ずつ抽出し、赤字で記載した。総合振興計画に基づいた町づくりを推進する上での現状の町民ニーズを視覚化し、次頁にこういった事業創出・推進が求められているのかを参考値として明確化している。

※期待値・評価の分母はいずれも総回収数：528

期待値＝今後の重要度の「非常に重要」＋「重要」

評価 A＝現状満足度の「十分満足」＋「まあ満足」

評価 B＝現状満足度の「やや不満」＋「全く不満」

行動方針（アクションプラン）名	今後の重要度 （期待値）	現状の満足度① （評価 A）	現状の満足度② （評価 B）
1.空き家や老朽化住宅などの対策に総合的に取り組みます。	372	124	268
3.安心して出産し、子育てができる環境をつくります。	397	159	228
5.適切な医療が受けられる体制を整えます。	432	208	239
6.安心して健やかに生涯を利尻町で過ごせる環境づくりに努めます。	412	214	210
7.暮らしやすい良好な生活環境を確保します。	398	233	182
8.基幹産業（漁業・観光業）における担い手獲得・育成支援を行います。	395	220	165
12.地域経済に寄与できる町外企業の誘致・支援に取り組みます。	309	143	198
14.起業・継業を含め、意欲を持って働ける仕事の創出、就労支援を進めます。	250	167	184
17.町民サービス等の充実・効率化を図るための人材育成等に努めます。	326	155	200
21.火災や救急に対する体制の強化を進めます。	384	267	123
22.災害に強い社会基盤整備を進めます。	382	207	154

<期待値が高いが、現状に満足していない（＝評価されていない）>

- 1.空き家や老朽化住宅などの対策に総合的に取り組みます。
- 3.安心して出産し、子育てができる環境をつくります。

<期待値が高く、現状で一定の評価はあるが、さらなる注力を求められている>

- 5.適切な医療が受けられる体制を整えます。
- 6.安心して健やかに生涯を利尻町で過ごせる環境づくりに努めます。
- 7.暮らしやすい良好な生活環境を確保します。
- 8.基幹産業（漁業・観光業）における担い手獲得・育成支援を行います。
- 21.火災や救急に対する体制の強化を進めます。
- 22.災害に強い社会基盤整備を進めます。

<期待値は平均的だが、著しく満足度が低く、改善の必要性が高い>

- 12.地域経済に寄与できる町外企業の誘致・支援に取り組みます。
- 14.起業・継業を含め、意欲を持って働ける仕事の創出、就労支援を進めます。
- 17.町民サービス等の充実・効率化を図るための人材育成等に努めます。

上記 11 項目における事業展開を加速していくことが、総合振興計画に基づいた町づくりにおいて、町民ニーズを取り入れる結果につながると考えられる。

③具体的に求められている施策

アンケートにおける自由記述から、具体的に以下の施策が優先的に求められていることが分かった。

・定住移住のための住宅の充実（質・量ともに）

物理的に住宅の数が少ない。老朽化している空き家の対策も含め、移住者のみならず、地域内住民のための住宅の不足も課題の一つとなっている。

・医療環境のさらなる充実

子どもを産み、育てやすい環境として島で子どもを産める医療環境を望む声が多く見られた。現状の医療環境維持は当然と考えられており、そこからさらに充実していくことが求められている。併せて、島外へ通院する場合の補助等の充実を望む声も多かった。

・生活環境における課題解決

冬季の除雪の改善（住居前に雪が溜まってしまう等）要望や公共交通機関（おもにバス）の運行ダイヤ改定や増発要望といった現状の生活環境における課題解決を望む声が多く見られた。

<人口減少に対する考え方について>

第二期利尻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定するにあたって、人口ビジョンに対する考え方を町民アンケートを活用して抽出した。

①人口減少について

アンケート回答（自由記述式）の半数以上が、人口減少は仕方ない、止めようがないといった考えを持っていることが分かった。その上で、町民意見として示された人口減少を前提とした町づくりの方向性、人口減少の原因となっているもの、その原因を解決するための施策案等を以下にまとめた。

<人口減少を前提とした町づくりの方向性>※特に多かった意見を抽出

人口規模に合わせたコンパクトな町づくり（集落再編も含む）
町民サービスの簡略化・効率化（AI導入推進等）、過剰サービスの廃止
町財政の見直し（身の丈にあった地域経営）
ヒト・モノ・コトのスリム化の議論の推進
関係人口を重視した町づくり（企業誘致やワーケーション誘致も含む）
高齢者の社会参画推進

<人口減少の原因>	<原因を解決するための施策案>
少子高齢化	安心して子育てができる環境づくり／出産できる環境づくり／若年層の町づくりへの参画推進／島外出産時の助成金等の支援の充実／子どもが遊べる場所の拡充／保育所以外に子どもを預けられる場所の創出／生産年齢層に対する移住定住施策の充実
就労場所の不足	魅力ある職場・会社（賃金、待遇等）づくり／漁業の生産力向上／産業の活性化／年金以外の最低限の収入を得られる仕組みづくり／漁業後継者の育成／雇用機会の拡充支援／冬場の産業創出／兼業支援／町外企業の誘致／漁業の6次産業化推進／起業支援／ワークシェアの構築
居住環境の整備不足	移住希望者向け住宅の整備／地域内住民向け住宅の整備／空き家の利活用
医療・福祉の不満足度	医療・福祉のさらなる充実／予防医療の強化
教育・人材育成の不足	郷土愛を持てるふるさと教育の充実／島外

	留学生の受け入れ／学習支援の充実／職業体験の充実
その他	支え合える人間関係構築の支援／高齢者が安心して最期を迎えられる環境づくり（終活支援）／防災対策の充実／公共交通機関の充実／関係人口の獲得推進

アンケート全体を見渡すと、前年度実施時に抽出した内容（住宅課題に対する取り組みの充実（空き家対策等）、子育て施策の充実、雇用機会の創出・拡充等）に対する関心度・課題感が引き続き、高く感じられた。なかでも、住宅課題に対する取り組み、子育て施策の充実、雇用機会の創出・拡充については、多くの町民が喫緊の課題と認識していると考えられる。漁業を中心とした後継者（＝担い手）の獲得・育成や企業誘致も含め、現在町として注力し取り組んでいる事業内容と合致している部分が多く感じられる。また、人口減少についても、回答の大半が人口減少は仕方ないと考えており、その前提に基づき、現状の町民に対する定住意向向上につながる施策を求めていることがうかがえる。

以上のことから、今後、本アンケート結果をはじめとするさまざまな評価検証資料も含めて、町民の方々の声を各施策に反映していくことが、町政に対する理解・共感・協働促進につながっていくことだと考えられる。